

四條畷市総合教育会議（平成28年度第3回）
会議録

四 條 畷 市

1 平成29年1月25日 午前11時 四條畷市役所東別館201会議室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市	長	東 修平
教 育	長	森田政己
教育長職務代理者		山本博資
教 育 委 員		大村民子
教 育 委 員		原 知 雅
教 育 委 員		吉田知子

3 事務局出席者

理事兼政策企画部長	開 康 成
教 育 部 長	坂田慶一
教 育 部 次 長 兼	西口文敏
教育環境整備室長兼課長	
教 育 総 務 課 長	阪本律子
教育部教育環境整備室上席主幹兼	河上弘子
学校教育人権教育・教科指導担当課長	
教育環境整備室上席主幹	谷口 隆史
企画調整課長代理	板谷ひと美

4 会議録作成者

企 画 調 整 課	板谷ひと美
-----------	-------

5 案件

(1) 今後の教育行政について

理事兼政策企画部長	<p>おはようございます。平成28年度第3回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、1月15日執行の市長選挙において、東修平市長が当選され、今後の教育行政について、相互理解、相互確認をしたいということでお集まりいただきましたので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、先立ちまして、市長から考え方をお話しいただいて、その後、意見交換をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしくお願いたします。</p>
市長	<p>本日はお忙しいなか、お集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p>理事からお話があったとおり、1月15日の市長選挙に当選させていただき、その時の考え、主張を含め、多くの方々から民意という形で思いを伝えていただいたことを踏まえ、改めてこの会議の場で私の考え方を共有させていただきたく、お集まりいただきました。</p> <p>最初に、何よりも考えていかなければならないことは、先の選挙において、多くの市民の方から意見があったまちづくり長期計画について、短期、中期、長期に分かれているなか、短期の部分に教育環境整備計画が該当するということは、計画を見直すに際し、どの期とは限らず、全ての期をみていくということです。</p> <p>私が主張させていただいたのは、新庁舎はどうしても必要ないものだという考え、これは中期の部分にあたりますが、そこを見据えたうえで、四條畷小学校と新庁舎を連動させて訴えてきた経緯があります。</p> <p>すると、四條畷小学校の部分を見直すとなった場合、短期の考え方にも影響が及ぶという意味で、教育環境整備計画につながっていくのかなと思っています。</p> <p>具体的には、四條畷小学校について、西部地域の中心地にあるという位置的条件や、これまでの歴史や伝統を踏まえ、今の位置で適応させていくことを考えた場合、3小1中を廃校し、今の南中学校にあたる場所に新小学校をもってくるという方針が動かざるを得ないのではと考えています。</p> <p>そのなかで、1番に考えなければならないのは、やはり安全面の問題です。何か事が起こってからでは遅いです。</p> <p>安全面を最重要視しながら、今一度、防災の観点、特に最近、熊</p>

本でも地震がありましたので、色々な災害状況において、本当に安全確保がなされるのかというところを見直していく。そして、現在学校に通っている子どもたちの思いであったり、変更に伴う子どもの気持ちであったり、環境の変化、ここを重要視しながら進めていきたいと考えています。

ただし、民意を受けた者として、計画の変更を検討していくという部分は避けられないので、2つの重要なところを考慮しながら、改めて広く市民の方々の意見を聞いていく、もっと多くの方に興味関心を広げていただき、大事にしなければならない先の2点を聞きながら、一定程度、民意を反映させた計画に見直していく。

これについては、積み上げてきたものを全部ご破算にしてゼロベースにするというよりも、しっかり積み上げてきたものの上に立ち、最終的な考えを決めていくという進め方で良いのではないかと思います。

理事兼政策企画部長

大きく市長の方針が示されました。

これについて、ご質問、ご意見をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育長

意見交換ということで、確認をさせていただきながら私の思いをお話しさせていただこうかと思います。

計画の変更を考慮する。また、意見を聞いていく根底にあるのは、やはり、民意の反映ということでしょうか。

私が教育長に就任した時の所信表明に、教育環境をより良く整えるといった内容があるのですが、そのなか、市長との意思疎通を十分に図るという部分については、今後も同じ考えです。

教育環境整備計画は、教育振興ビジョンの理念に基づき、今後の教育環境を整えるにはどうしたら良いかということを計画としてまとめたもので、市長にも、小規模校の解消、校区のねじれの是正、校舎の老朽化が喫緊の課題であるということを理解してもらい、進めていかなければならないことを申し述べさせていただきます。

また、多くの方々の理解を得ること、理解をいただく努力を重ねることと併せ、市長がおっしゃる民意に重きを置くことも考えなけ

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>ればなりません。</p> <p>ただし、今後、意見交換を行うなかでは、子どもたちの心のケアが必要な場面が出ないよう、配慮する必要があります。</p> <p>30年にわたり本市の教育に携わってきた者として、子どもを第一に考え、学習を進めるための教育環境を整えていく、これは市長も同じだと思いますので、今日は限られた時間ではありますが、建設的な意見交換ができればと希望します。</p> <p>山本でございます。よろしくお願いします。</p> <p>東市長の、まちづくり長期計画、特に、教育環境整備計画についての考え方をお聞きしましたが、我々はこの間、結構な年月をかけて今の計画を作り上げてきました。</p> <p>そのなかで、3小1中の問題もありますが、1番考えたのは、校区のねじれの問題、これは、本市の以前からの課題と思いますが、どこかで解決しなければならないということで、一定の市民や区長会等の意見を聞いて、今考えられる1番良い案を作ってきたと思っています。</p> <p>それからもう1つは、教育長からもありましたが、少子化の問題。大阪府でいいますと、毎年2千人位が減っています。</p> <p>これは、大阪府の教育庁も懸念しており、この10年間で2万人の減少、府立高校で考えると、現行の半分で良いという位の規模になるということです。</p> <p>本市にあてはめると、計画にもありますが、5、6年の間に700、800人程度が減少し、中規模程度の小学校に相当する数が減っていく。</p> <p>そういう先のことを見通して、3小1中の問題も考えてきたと思います。</p> <p>それと、もう1つは、老朽化の問題。現の校舎については、色々ありますが、これからの将来の教育を考える時に、やはり薄暗くて老朽化した校舎よりも、明るく、子どもたちがいきいきできる校舎、これは、我々も他市を色々見てきたなかで結論を出した訳ですけども、それについては、早急にもしなければならぬと思っています。</p> <p>そういう意味では、白紙ではないと市長さんがおっしゃったこと</p>
-------------------	---

	<p>に安心をしておりますけれども、選挙の間、全面的な見直しということが言われてきたと思います。</p> <p>また、教育委員会では、この間に色々考えていただいた市民の方々からの申入れ書も見させていただきました。</p> <p>全面改修については、我々の考えていた3つの視点の中で考えていくということに、一定市長は了解していただけるのかということが1点。</p> <p>それと、もう1つは、これは私個人の考えですが、廃校ということについては、あまりこだわっていません。</p> <p>だから、現の改修で南中学校の跡地と考えましたけれども、あくまで個人の意見ですが、四條畷小学校の継続を考えての南中学校の跡地活用だという考えを持っています。</p> <p>こだわりましたのは、東小学校と南小学校がありますので、現在の子どもたち、あるいは保護者の方に配慮し、四條畷小学校と一体化するという形で考えていきたいと思っています。</p> <p>それについて、市長のお考えをお聞きしたいと思います。</p> <p>2点よろしくお願いします。</p>
市長	<p>すみません、1点目の全面改修についてというのは。</p>
山本教育長職務代理者	<p>いや、全面改訂です。市長さんの選挙公約にあったと言われていのですけれども、形のうえではなく、内容として、我々は新しい学校を作りたいという理念を3本柱として説明させていただいたのですが、それについてのお考えを。</p>
市長	<p>それが1点で、2点目が南小学校、東小学校の保護者の方々への配慮の部分ということでよろしいですか。</p> <p>1点目の全面見直しについて、最初に少し言わせていただいたのですが、教育環境整備の部分を全面見直しということは、私は一言も言っていないし、公約に掲げた記憶もございませんし、実際に掲げていません。</p> <p>全面見直しするというのは、四條畷市のまちづくり長期計画を全面的に見直すということです。</p>

何を全面的に見直すのかという話ですけれども、まちづくり長期計画をしっかりと見てみると、2050年をターゲットに置き、そこまでを3段階に分けて、各ステージで取り組んでいく。そして、その先、四條畷市は、人口1万2千人減少して、高齢化率は42%、ほぼ2人に1人が高齢者という姿を前提にしたうえで、各ステージを歩いていきたいと思いますという内容になっていると思います。

その中期的な措置として、公共施設を集約させていく、そして、市役所を含む複合公共施設を西部地区の中心部に建てていく。その前段階として、小学校、中学校を統廃合していくという計画なんですよね。

計画というのは、上から順に作るものなので、先を見据えてどういうことをしていくのかという、そもそものところ、特に、中期と長期のところを全面的に見直したい。

当然ながら、少子高齢化で子どもの数が減っているというのも事実ですけれども、加速度的に進んでいく今の流れを受けたままの未来を描いて、近隣自治体と比べて規模の小さい四條畷市で、このままの計画でいってしまうと、自治体としてもたなくなるというのが私の正直な思いです。

そうではなくて、この暮らしやすいまちの環境、都市にも非常に近く、緑がたくさんあるという状況、そういうところを鑑み、もっと若い世代に住んでもらえるようなまちづくり長期計画として、改めて短期、中期、長期を定めていきたい。これが私の思う全面見直しです。

また、中期部分に関して、今から国の財政も逼迫していくなか、公共施設を集約が大切なのも分かりますが、財政的負担の大きい新たな公共施設を建てていくことは厳しいのではないかと。このあたりが私の思う全面見直しです。

なので、冒頭申し上げさせていただいたとおり、教育環境整備計画というところは、これまで積み上げてきたたくさんの経過があるということを理解しているので、そこを全面見直しするという意図はないという、そこが1点目に対する答えになります。

2点目のところですが、配慮というのは、平成24年度の時のことを踏まえた配慮という意味ですか。

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>四條畷小学校を残したいということをおっしゃいましたので、我々がはっきりと新しい学校の校名を言わず、四條畷小学校の継続を言わなかったのは、東小学校と南小学校に配慮したということですが、実際には、四條畷小学校を南中学校にもっていくことによって継続したいという意図があったということです。</p> <p>それと、中長期の話をされましたが、本来、我々は教育環境整備だけを考えてきました。</p> <p>そのなかで、予算やまちづくり全体の問題として、教育委員会だけではできない課題があることから、まちづくり長期計画の一環としてやってきた経緯があります。</p> <p>なので、今言われたように、上から下りてきた訳ではなく、我々の方が先行してきたものを、まちづくりの一環として組み込んだのです。</p> <p>また、新庁舎の問題については、教育委員会の権限外のことなので、そういう議論はしていません。そこはご理解いただきたいです。</p>
<p>市長</p>	<p>おっしゃるとおりだと思います。</p> <p>それに対し、四條畷小学校を廃校にする、しないの視点ではなく、計画をひも解いた時、跡地にくるのが複合施設だったということであれば、わざわざつぶす必要がないじゃないかという順番なので、廃校したくないから、まちづくり長期計画をストップするという訳ではない。まちづくり長期計画に書かれているように、四條畷小学校をつぶしてまで複合公共施設は必要ないというのが私の判断であって、理念自体を見直す必要がある。そこはご理解いただけたらと思います。</p> <p>配慮という点では、南小学校、東小学校は1学年が1クラスというところがほとんどになっている状況で、今後、どうなっていくのか、また、教育環境がしっかり担保、確保されるのかという保護者の不安がある一方、地元への思いというのも当然にあると思います。</p> <p>しかし、そこは、最初に山本教育長職務代理者がおっしゃったように、余りこだわるべきではないと思っています。</p> <p>地域に対する思いを大事にしなければならないということの前</p>

<p>吉田教育委員</p>	<p>提としても、ただ自分たちの地域にある学校だからとか、思いがあるから無くしたくないという気持ちだけを取り上げては前に進みません。</p> <p>もちろん、一定程度の配慮をすべきですが、全面的に配慮しなければならないという意見には賛同する立場をとれないということです。</p> <p>吉田といいます。よろしくお願いします。</p> <p>公約に掲げておられた、市民の声を聞くというお話ですが、どのような形で市民の声を集約するのか、教えていただけますか。</p>
<p>市長</p>	<p>聞き方という部分については、まず、対象をどうするのか、頻度をどうするのか、場所をどうするのかなど、色んな切り口があると思います。</p> <p>今回の場合でいくと、対象を考えた場合、本来であれば教育環境であるものの、予算措置を伴うというのも現実としてあるので、可能であれば幅広い市民の声、地域だけに限定するより、多くの方の意見を聞いていく方向で取り組んでいきたいと思います。</p> <p>また、地域ごとというのと、どうしても一気に全員を集めることはできないので、方法の問題も出てくると思います。</p> <p>私として、こうすべきというものは現時点では断定しませんが、本当に広く全体の意見を聞くのであれば、1つの質疑にそれぞれ応答ということはさすがにできませんので、紙媒体や別の方法で一旦聞くことも選択肢となります。</p> <p>ただ、やはり私の場合は、双方向のやり取りが大切だと思いますので、小学校区ごとの意見交換会など、少し規模を下げた形でのやり取りを行うなど、全てを一定の方法で行うのではなく、方法を変えることで、幅広い方から聞くことと、やり取りをすることの2つを実施できるのではないかと考えています。</p>
<p>吉田教育委員</p>	<p>意見を聞く、また、意見交換会をする場合、その指揮をとり、話を聞くのは教育委員会ということになりますか。</p>

<p>市長</p>	<p>テーマによると思っております、冒頭に申し上げているとおり、まちづくり長期計画について意見を聞く場面では、教育委員会に入ってもらってはあったとしても、教育委員会主導のやり取りということにはならないと思いますし、小規模校や校区のねじれ問題など、限定されたテーマであれば、市長部局というより教育委員会になってくると思います。</p> <p>従いまして、テーマによって変わってくるというのが正直なところだと思います。</p> <p>アンケートや紙媒体で聞くとなった場合は、おそらく幅広いテーマで幅広い方に聞くので、市長部局主導で進めていくことになると思いますけれど、意見交換会のテーマが今言った喫緊の課題に対し、どう取り組んでいくのかということになれば、やはり教育委員会主導ということになります。</p> <p>そもそも、民意を反映させるという趣旨なので、どちらかのみが責任を持つというより、市長部局として一緒に参席することは否定されるものではないと思っています。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>意見聴取の中身についてですが、教育環境整備については、確かにまだ意見が集約されていないという考えも聞いていますけれども、我々としては、事務局が中心になって、各種団体や学校など、結構な形できめ細かく行ってきたと思います。そのなかで、意見をはっきり述べられなかった方については、聞いてもらえてないという思いはあるかと思いますが、不十分かも分かりませんが、一応積み重ねてきたという理解をしています。</p> <p>今、市長がおっしゃっている意見聴取の中身は、まちづくり長期計画全体と理解していいのでしょうか、それとも、教育環境整備に関してですか。</p>
<p>市長</p>	<p>少し食い違いがあるのかなと思うのですが、教育環境整備についての意見聴取の場で、まちづくり長期計画について議論したいということではなく、幅広く話をする場合や方法を使う時は、まちづくり長期計画の話も出てくるかも知れませんということです。</p> <p>教育環境整備計画に関する意見交換会、すなわち、今までずっと</p>

吉田教育委員	<p>積み重ねてこられたような集まりの中で、まちづくり長期計画の議論をするということはないです。それは別の場で行います。</p> <p>今週末に新中学1年生の入学説明会があります。</p> <p>保護者の方たちは、どうなるのかという不安をお持ちだと思うので、その点に関し、教育委員会としての回答を求められると思います。また、意見交換を急がなければならないと考えます。</p> <p>意見聴取をされるということでしたら、まず、その方たちの意見が先になると思いますし、注目されている分、意見が1番多く集まると思います。</p> <p>先ほど、市長は紙媒体でも良いと言われたので、今の時点ではアンケート方式でも良いと思われているのかなと思うのですが、その点はいかがでしょう。</p>
市長	<p>おっしゃっていただいたとおり、時期、時間的なものがあります。</p> <p>確かに、急いでやらなければならないという事も側面としてあると思います。</p> <p>ただし、おっしゃっていただいた校区のねじれに関し、既に、雁屋や中野の子どもたちが新校区に移っているというのは、本来ねじれが生じてしまっていたからこそ変更した校区であり、いずれにせよ解消しなければならなかった区域だと、そういうふうに理解しているので、これはこれで間違いなく進めていかなければならず、校区は校区としてみていくという考え方もあると思うのです。</p> <p>急がなければならないというのも事実ですが、意見交換をするには、行政側として、教育委員会、市長部局に、これという意見がないまま意見交換はできませんので、いま急いでやるというのは私の考える市政の進め方ではありません。</p> <p>おっしゃっていただいた媒体で行うということは、速度感をもって、幅広く多くの方、意見交換に出席できない方やこれまで出られなかった方にも、いま注目が集まり、新たな情報が入ってきていることで、アンケート方式で伝えることならできる方の意見を吸い上げることができるので、方法の1つとして有効と思います。</p>

理事兼政策企画部長	<p>その他はよろしいでしょうか。</p>
原教育委員	<p>原と申します。</p> <p>教育委員としてこの計画に関わり、まだ1年ちょっとなので、詳しい実態は記録で読むぐらいしかできてないのですが、記録では、たくさんの人たちとの意見交流は、既にかなり丁寧にされてきたという認識をしています。</p> <p>実態はよく分かりませんが、私の周りで、校区編成のことなどで、既に西中学校を選択し、進んでいる方たちは、市長がおっしゃるように、もう1度意見を聞かなければならないといったことを言っておられません。</p> <p>単純な質問で申し訳ないのですが、もう1度聞かなければならないというエビデンスというか、根拠はどこにあるのか聞かせていただけますか。</p>
市長	<p>はい。おっしゃっていただいたとおり、これまで比較的たくさん意見交換や出前講座等で広く市民の方に周知してきたというのを否定するつもりはありません。</p> <p>ただし、今回私が自分の主義主張を訴えてきたなかで、波及していく速度には、アンテナを鋭くはっている方とそうでない方の違いがあるということも事実です。</p> <p>そういう方たちに、いま、市長選挙を終えた直後で、連日騒がれた報道等もあり、特に関心が高まっているなか、改めて意見聴取を行えば、これまで吸い上げてこられなかった声も届くのではないかと。十分でなかったと言っているのではなくて、一定、見直しということが評価されたという事実があって、且つ、これまで以上にアンテナの高い今の状態は、行政として、教育委員会、市長部局として、もっと多くの声を聞ける状況であるというのがまず第1として考えられるかなと。</p>
大村教育委員	<p>大村と申します。</p> <p>全て白紙だとか、全て見直しはないとか、頭の中が整理できない</p>

	<p>ので確認させていただきたいのですが、四條畷小学校の位置等については、そのままで見直しをしたいとはっきりおっしゃった。そのあたりが新庁舎との関係とか、安全、防災、地震とかも含め、環境という問題は大きいから改めて意見を聞くとおっしゃったと思います。</p> <p>全面見直しはしない。2つ、3つ問題点があって、改めて意見を聞く。とおっしゃいましたが、市長が考えておられる意見、改めて意見を聞くというのは、どのようなものをおっしゃっていますか。</p> <p>四條畷小学校の件や校区の見直し、ねじれの解消といったあたりのことが整理できていないです。</p> <p>私の説明が十分でなかったのかも知れませんが、庁舎というところはですね、どうしても大きな予算措置を伴うものです。</p> <p>本市の財政状況を踏まえた時に、そもそも、どこまで建物にこだわるのかというのが1つ考えられると思っています。</p> <p>山本教育長職務代理者がおっしゃっていただいたように、校舎が薄暗い等々という話がありましたけれど、やっぱりきれいな学校、より良い校舎としての学び舎のなかで学べる環境というのを当然めざすべきというのは私も重々理解しています。</p> <p>ただ、それをハードと捉えるのであれば、もちろんソフト面の教育というのもあると思うのです。</p> <p>予算の限りがなければ、どちらも充実していくべきなのですが、私が、そもそものまちづくり長期計画を見直したいという思いの1つが、人口が減少していくことを前提に作っているということに加え、集約化するといえども、財政負担の伴う新しい建築物を立てていく姿勢に疑問があったからです。そして、今回の新小学校の建設というところに対し、同じ考えがあるのは事実です。</p> <p>そうした財政的負担を伴う建物を建てる必要がないという思いを踏まえたうえで、民意としてもう一度、学校の教育環境ということについて聞いていくというのがお答えになるのかと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>意見聴取会を開くと、色んな意見をもって、色んな世代の方が来られます。</p>
<p>吉田教育委員</p>	

	<p>そうなる、学校の統廃合だけに関わらず、まちづくりの意見も出てくると思います。</p> <p>なので、色んな方がその場において、対応できるようにしておかなければ、すぐ答えが欲しいという方もいらっしゃるし、その場を収めるためにはある程度の答えが必要で、そうなる、大変大きなものになると思います。</p> <p>私は、問題を分けて考えればと思うのですが、学校の今の問題に関しては、やはり、今の保護者がとても注目していると思うので、それに関するアンケートは教育委員会でもってもらう。</p> <p>また、通学路に関しては、通学している子どもたちの考えも聞きたいとおっしゃったので、そうなる、学校から子どもたちにアンケートを配ってもらうとか、先生が子どもたちの意見を吸い上げるとか、そういうことになると思います。</p> <p>そうなる、その内容に関しては、学校と直接かかわっている教育委員会が主になると思いますが、そのあたりに関してどこまで市長が関与されるのか、今の時点での市長のお考えを聞きたいと思います。</p>
市長	<p>関与していくとなると、何かこう、変えようとか、そういうニュアンスに聞こえるかと思いますが、決してそういう意図ではなく、初めに教育長がおっしゃっていただいたとおり、意思疎通をしっかりと図り、共有して進めていくなかで、教育環境については教育長のもと進めていくというのが今の考えです。</p> <p>子どもたちに関する部分についても、もちろん同じです。</p>
吉田教育委員	<p>これからも意思疎通して進めていきたいということですね。</p>
市長	<p>そうです。</p>
山本教育長職務代理人	<p>今までお聞きして、私の考えというか、感想を述べさせていただきたいのですが、1つは、我々は、教育環境整備計画で新しい学校を作ると言っていますが、何も市の予算を度外視している訳ではなく、市長部局とのすり合わせを行ったうえで、長期的に考えて、今</p>

の校舎を全部建替える費用と、今一斉にこういう形でする費用との比較をし、こちらの方が市の財政にとっても良いという市長部局の判断があり、現計画の推進に踏みきったということは言わせていただきたい。

それから、ソフト面について、市長はご存知だと思っておりますけれども、本市の教育内容は大阪府の中でも特化した部分がすごくたくさんあります。

もちろん、そういう仕掛けを事務局の職員が一生懸命やってくれたというのがあるのですが、例えば外国語学習については、本市の取組みが、今、大阪府の全小学校に広がっています。

それと、他市に先がけ、外国人の指導助手をたくさん採ってきたということも市の予算のなかでしていただいたという経緯もありますので、教育委員会は今まで結構な予算をいただいている。

今の教育のなかで、外国語活動、あるいは読書活動、なかでも読書活動については、他市にない図書館との連携とかを含めてしています。また、郷土史の作成という部分も他市より早いかと思います。

そういう意味では、ソフト面についても結構取り組まれている。

1番問題なのは、学力の向上ということが、前市長からもすごく言われていた部分もあるのですが、フォローアップ授業を通じて進んでいるかなと思います。

ソフトはどうしても良くて、ハードだけという考え方ではなくて、両方やらなければならないという考えですので、それは取り組んできたかなと自負しています。

それについてはご理解いただきたいと思います。

アンケートについてなんですけれども、意見聴取、確かに不十分なところがあったと指摘されたらその通りかも分からないですけども、従前、教育部で行ってきた意見聴取であるとか、意見交換会であるとか、出前講座であるとかについては、市長も理解されているとおりに、結構な数をやってきました。

今度同じようなことをしても多分、これ以上の意見聴取はできないと私は思っています。

だから、市長が選挙等で色んな草の根運動をされて、その中で発言できない市民の声を聞かれたと思うのですけれども、そういう声

を吸い上げることが、今回の意見聴取の基本ではないかなと、お話をうかがって感じています。

そうしますと、従前のやり方ではない方法をとらないと、やはり従前の繰り返しになってしまうのかと思っています。

それは、何が良いのかというと、今、吉田委員がアンケートとおっしゃいましたが、そういうことも含めて、もう1回、我々が、何が1番効率良く、今まで出ていない市民の声を聞くことができるのか、効率の良い方法をもう1度考えさせていただきたいなと思います。

市長

ありがとうございます。

新小学校が予算を度外視と申し上げるつもりはありませんし、ソフト面が充実してないと言っている訳ではありません。

最後に言ってくださった部分、これは正にそのとおりだと思っておりまして、私も、あくまで紙媒体を使った方法もあり得るという程度に留めさせていただいたのは、そここそ、今まさに決めてしまうことではなくて、どういう方法が良いのか、よりきめ細かい形になっていくのかを改めて考えていく、それが本当に必要なことだと認識しています。

理事兼政策企画部長

皆様から意見をいただきながら、市長と意見交換をさせていただきました。

そのなかで、市長から、まちづくり長期計画の再考が必要だという観点と、短期に位置付けている学校再編整備については、児童生徒の安全面、防災面を第1に、子どもたちの心的負担を考慮して進めていきたい。この2つを大きな方針として、それに対しては、民意を受け止めながら広く意見を聴取していきたい。学校再編に伴い、種々の課題があるなか、校区是正については、最重要視しなければいけない。これについては、入学説明会等が間近にあるということで、時間は意識しつつも、意見は何っていかなければならないので、単純には決められないし、熟考しながらとご説明があったと理解しています。

その方法については、色んな方法があり、市長もこれまでの経緯

<p>市長</p>	<p>を大切にしていきたいとの意向があるので、教育委員会と市長部局で協議調整をするということで理解しましたが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>もう1点、問題提起をさせていただこうと思いますが、学校再編整備については、昨年度から中学校を先行し、進めてきています。議会の議決を経て、今、準備している最中にあるのですけれども、これについての市長のお考えをいただけたらと思います。</p> <p>たくさんの方の意見とか、資料等で読ませていただいたなかでは、プールなど、そもそも老朽化しているところをきれいにしなければならないこと、また、忍ヶ丘小学校、四條畷中学校の小中連携棟やクラブの部室というところは、本市として既にそういう契約を結び、着工していることもあり、なおかつ、これからもっと子どもにたくさん住んでもらえるような市にしていくという方針を合わせると、直ちに止めるべき内容ではないというのが今の私の考えです。</p>
<p>理事兼政策企画部長</p>	<p>意見聴取からは切り離して考えるということですね。</p> <p>一定の意見交換ができたのかなと理解しておりますが、その他、何かございませんか。</p>
<p>教育長</p>	<p>最後に、中学校の校舎等の改修について、西中学校にしても、四條畷中学校にしても、これによって生徒数が増になるという見込みの計画を積み上げてきたなか、この改修工事があるわけで、その計画のもとに、国にも申請をして、それが認められてきたという経緯がございますので、このあたりのところが今後、変更しなければならないとなった時に、交付金等々で少し課題が見つかってくるようなことがないかを懸念しています。</p> <p>市長が冒頭に、教育環境整備計画の全面見直しというのは、そこまではなく、中期、長期のまちづくり長期計画の方であるということで、短期の部分については、我々も、市民も、子どもたちにとっても、本当に不安というか、混乱を与えようとしていることについて、私も非常に申し訳ない思いでいっぱいでございます。</p>

<p>市長</p>	<p>それを何とか1日でも早く整理して、しっかりと市長と共有させていただいて、より良い方向を打ち出していきたい。</p> <p>そのためには意見聴取の方法を色々こちらでも考えさせていただいて、市長のほうにも提案させていただこうと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>混乱というところなのですが、確かに、一定程度の混乱が無いと言ったら嘘になると思います。</p> <p>学校をどこに置くのか、それに伴い、まちづくりをどうしていくのかということ、今の市民の方々に混乱が起きてしまっていることを事実として受け止めながらも、やはり、10年、20年、30年後の市民にも大きな影響があることとして、未来の四條畷市民に対しても責任を持った、確実な1歩を踏み出していかなければならないというのが今の私の気持ちです。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>議題から離れ、感想めいたことになって申し訳ないですが、我々も四條畷の子どもの未来を考えて、こういう案を作りました。</p> <p>市長も本市の20年、30年先のことを考えていただいているということで、若干、方向性は違うかも知れませんが、そういう思いについては、我々も熱いものを持っているということを理解していただきたい。</p> <p>また、私はこれまで、大阪府の教育委員会等とも関わってきましたが、本市の教育委員会事務局のメンバーは、本当に体を壊すくらい、精力的に、市民の意見聴取や情報収集などを行ってこられました。</p> <p>これについて、尊敬の思いをもっているということを市長にもご理解いただけたらと思いますので、よろしく願います。</p>
<p>市長</p>	<p>今後、計画が少し違う方向になったとしても、これまで熱い思いでやってこられたことに対する否定になるとは決して思っておりません。</p> <p>その積み重ねがあったからこそ、最終的な結論が出るのだと思っていますので、それをしっかりと胸に留め、進めていきたいと思</p>

<p>理事兼政策企画部長</p>	<p>ます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日はこれをもって閉じさせていただきます。</p> <p>今後についても、度重なる意見交換などで意思疎通を図っていき たいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、平成28年度第3回総合教育会議を終了させて いただきます。</p>
------------------	---